

マイクロチップ

マイクロチップとは？

マイクロチップは、固有のIDナンバーを書き込んだ超小型集積回路を封入した直径約2mm、長さ約11mmの大きさのチップです。犬、猫の頸部皮下に埋め込み、リーダーでIDナンバーを読み取ります。一度埋め込めば、脱落することなく一生有効です。



マイクロチップ実物大



リーダー（読み取り器）

電子の迷子札

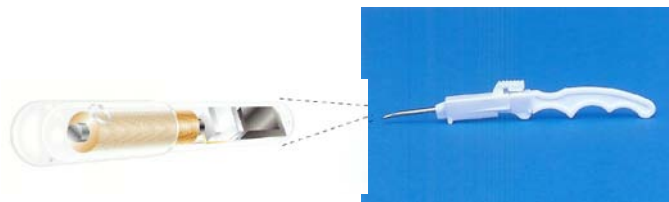
マイクロチップは、いわば「電子の迷子札」です。迷子、盗難、災害時などいざというときに確実に身元確認ができます。名札や鑑札も首輪につけておくことをおすすめしますが、首輪がつけられない動物や首輪がとれてしまったとしても、マイクロチップがあれば安心です。専用のリーダー（読み取り器）は動物病院、保健所、動物保護センターなどにあり、読み取ったIDナンバーを集中管理センターへ照会することで飼い主さんが特定できるシステムになっています。

海外では・・・

マイクロチップは世界で広く使用されています。北欧諸国、フランス、スペイン（一部）、シンガポール、台湾等では犬の登録にマイクロチップを採用しています。イギリス、オーストラリア、ニュージーランド等では入国時のマイクロチップ装着が義務付けられています。日本でも海外から犬を連れてくる場合にはマイクロチップ装着が義務化されています。

どうやって埋め込むの？

専用の注射器（インジェクター）で頸部皮下に埋め込みます。通常の注射と同じ要領で、瞬時に済みますので、一般外来で処置できます。針はやや太めですが、痛みを訴えることはほとんどありません。



副作用はないの？

生物学的適応ガラス、生体に無害なポリプロピレンを使用しており、埋め込み局所に対し、有害な変化を起こさないことが確認されています。

移動防止キャップにより、一般的には埋め込み部位から移動することはありません。

読み取り性能はMRI診断などの際の磁場の影響を受けないことが確認されています。